

アキュラホーム 2010 年度業績の概況について 売上高 17 期連続増収、過去最高益を更新！

株式会社アキュラホーム(本社:東京都新宿区、社長:宮沢俊哉)の2010年度(2011年2月期)の業績は増収増益となりました。売上高は33,802百万円(前期比9.3%増)と94年度以来、17期連続で増収となるとともに、営業利益は2,071百万円(前期比103.8%増)、経常利益は2,223百万円(前期比92.5%増)、当期純利益は1,244百万円(前期比90.0%増)と増益となり、いずれも過去最高益を更新しました。

当事業年度における我が国経済は、緊急経済対策の効果やアジア向けを中心に穏やかな輸出の増加、個人消費の持ち直しなど、自律回復に向けた動きがみられましたが、年後半にかけ世界景気の下振れ懸念、長引く円高の影響などにより先行き不透明な状況が続きました。

住宅市場においては、個人所得や雇用環境に目立った改善が見られないこと等から、引き続き厳しい状況が続くところとなりました。しかし、過去最大規模の住宅ローン減税などの税制措置や、環境配慮型住宅の普及促進を目的とした補助金制度の継続に加え、住宅版エコポイント制度の延長が決定するなど、住宅取得支援策の効果もあり、持家をはじめとする新設住宅着工戸数に持ち直しの動きが見られ、全体としては若干の回復基調となりました。

この中で、当社では住環境の将来を見据えた研究と現業を推進する事業を明確にした体制とし、相互の成果を最大にして企業基盤を磐石なものにすべく、環境配慮型住宅の開発、業務効率向上などの各種の重点施策への取組みを進めてきました。

匠の心を持つ注文住宅のプロ達ที่認めた品質とともに、国が定めた長期優良住宅の認定基準を大きく上回る優れた基本性能を誇り、住宅エコポイントにも対応する「めぐる」を主力商品とし、下期においては基本照明の一部LED採用による非白熱化や自然の風を取り込む工夫など、これまで特別グレードとして採用されていたエコ機能を標準仕様に搭載して、環境配慮を重点化してきました。

そして、お客様のしあわせを育む住まいづくり、2代、3代と住み継いでいただくため、地域密着ホームビルダーとしてのきめ細かな“家守り”を目指し、支店を活動拠点の中心に据え、積極的なご入居者訪問を行い、お客様サポートを実施。ご入居者とのコミュニケーションを図りながら、リフォームサービスや定期的開催される「住まいのお手入れ講座」のご案内を行なうなど、新たなお客様ニーズにお応えしていく活動を強化してまいりました。

これにより各種販売施策が顧客のニーズに適合し、支持に繋がったと考えられ、受注棟数は1,594棟(前期比3.3%減)、完工棟数は1,449棟(前期比6.0%増)となりました。この結果、住宅建築事業部門の売上高は、32,519百万円(前期比9.6%増)となりました。

全国の工務店を支援するビルダー開発事業部門は、環境悪化を受け売上高は微増の、1,282百万円(前期比1.7%増)となりました。同事業については、工務店を取り巻く市場環境の変化に対応すべく、方針転換期として従来のアキュラシステムの販売戦略を取りやめ、新たな戦略を練る過渡期と位置づけました。これにより、当事業年度での販売は縮小しましたので、導入企業は9社となりました。

会員数については減少傾向にありますが、より強固な結束を第一にジャープネットが目指す「永代続く優良ビルダー」という、同じ志を持つ工務店を受け入れました。

また、昨期、経営改善を目指して選考された会員企業へのサービス拡充を目的に立ち上げたリーディングプロジェクト19社を中心に、新たな工務店支援サービスが成果を発揮し始め、継続的な共同仕入商品の拡充、会員との連携を深める数々の情報提供等の活動を積極的に行いました。

2011年度は、市場環境の変化、企業間の競争激化が色濃いものとなる様相ながら、前期を初年度とした中期経営計画に掲げる“建築業(製造・販売)にとどまらない住まい・暮らしのトータルサービスの提供”を目指した推進期と捉え、更なるサービスの拡充に着実に取り組みます。

具体的には、お客様のニーズに応えるとともに満足度の継続的な向上を目的とした「家守り」活動を中心に、お客様との関係をさらに深め、関係強化に取り組むことで、お客様、従業員、企業にとって価値最大化を目指し、事業継続をさらに確実なものにしていきます。

これらの取り組みにより、2011年度のアキュラホームの業績は、完工棟数は1580棟(前期比9.0%増)、売上高は381億円(前期比12.7%増)をそれぞれ見込んでおりますが、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、見直す可能性があります。

2010年度(2011年2月期)の業績 (2010年3月1日～2011年2月28日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2010年度	33,802	9.3	2,071	103.8	2,223	92.5	1,244	90.0
2009年度	30,928	11.1	1,016	2264.9	1,154	849.6	654	872.7

(%表示は対前期増減率、記載金額は百万円未満切捨て表示)

部門別売上高

	住宅建築 事業部門		ビルダー開発 事業部門	
	百万円	%	百万円	%
2010年度	32,519	9.6	1,282	1.7
2009年度	29,665	12.3	1,263	10.9

(%表示は対前期増減率、記載金額は百万円未満切捨て表示)

受注・完工棟数

	受注棟数		完工棟数	
	棟	%	棟	%
2010年度	1,594	3.3	1,449	6.0
2009年度	1,648	5.0	1,367	18.6

(%表示は対前期増減率)

【トピックス】

- ・ 今期より社会貢献活動の一環として、子どもたちに木の素晴らしさを伝えるため「木望(きぼう)の未来プロジェクト」と題し、間伐材を利用した学習用机の天板を少学校に寄贈するとともに、「カンナ社長のふれあい授業」を実施しました。
- ・ 当社では、「働きがいでも日本一の企業」となるべく様々な制度を設けています。その一つとして、会社の利益が一定額を上回った場合に決算賞与を支給しており、2010年度は過去最高益となったことを受け、全従業員の努力に報いるため、決算賞与を支給するとともに、ハワイでの社員研修を実施しました。

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社アキュラホーム広報課 堀越・長谷川・若林 Email: horikosi@aqura.co.jp 携帯:090-7843-6574
住所: 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F TEL:03-6302-5010 (直通) FAX:03-5909-5560